

緩和ケア研修会実施報告

日時 : 平成 29 年 12 月 23 日(土)

対象者 : 卒後 5 年目以上

参加者数 : 22 名(対象者 21 名/一般参加者 1 名)

目的 : 緩和ケアと家族ケアの学びを通して事例をもとに倫理面を含めたアセスメントとケアを考え実践に繋げることができる

<講師の紹介>

緩和ケア認定看護師

1997 年入職後、主に内科病棟に勤務され、
2014 年緩和ケア認定看護師資格を取得されました。

現在 5B 病棟での勤務の傍ら、緩和ケア外来を行い
緩和ケアの中心メンバーとしてご活躍されています。



<内容>



前半は講義形式で、緩和ケアについての概念や症状緩和の方法、がん患者の家族の心理的反応などについて学びました。後半のグループワークでは倫理の症例検討シートを用い、家族の不安や悲嘆への支援方法を倫理的側面から考え、検討しました。

講師が実際に経験された症例を交えながらの研修で、大変印象に残るお話ばかりでした。すべての看護ケアには意味があること、がんと診断された時から関わっていく必要があること、家族ケアの重要性等、たくさんの学びを得ました。今回の学びを各部署で共有し看護ケアに活かしてほしいと思います。